

日本と世界を結ぶ

西知多道路



© Central Japan Railway Company. All rights reserved.



国際拠点港湾
名古屋港

© 名古屋港管理組合

国際拠点空港
中部国際空港

西知多道路推進協議会

西知多道路とは

東海市から常滑市までの間で、整備を進めている自動車専用道路です。

国際拠点空港の中部国際空港と高速自動車国道の新東名高速道路(伊勢湾岸自動車道)を直結するとともに、名古屋高速道路を経由してリニア中央新幹線(名古屋駅)を結びます。



位置図



名古屋駅や
中部国際空港との
結びつきが
より強まります

※その他の道路・鉄道については、計画中または事業中の路線を破線で示しています。

あいち・とこなめスーパーシティ構想

AIやビッグデータなど先端技術の活用や大胆な規制改革等によって、未来の生活を先行実現する「まるごと未来都市」を目指します。

フェーズ1：～2025年
中部国際空港島と対岸部のりんくう町に最先端技術・サービスの導入を図り、ビジネスモデルを構築します。

フェーズ2：2026年以降
フェーズ1で実現したサービスについて常滑駅周辺等市街地への展開を図ります。

フェーズ3：2030年頃
市内、県内の課題解決のための展開を図ります。



中部国際空港株式会社提供

『中部国際空港の将来構想』に沿った滑走路の整備

今後も増加が見込まれる航空需要に対応するとともに、喫緊の課題である現滑走路の大規模補修に速やかに取り組む必要があること、また、「中部国際空港沖公有水面埋立事業」による空港西側の工区の埋立に約15年を要するとされることなどを踏まえて、現空港用地と新たに造成される土地を最大限活用して、2段階の整備で滑走路の中心線間隔を760m確保した2本の滑走路を配置することにより、滑走路処理容量を現在の約1.5倍とすることを目指します。

【中部国際空港の将来構想(2021年12月策定)】

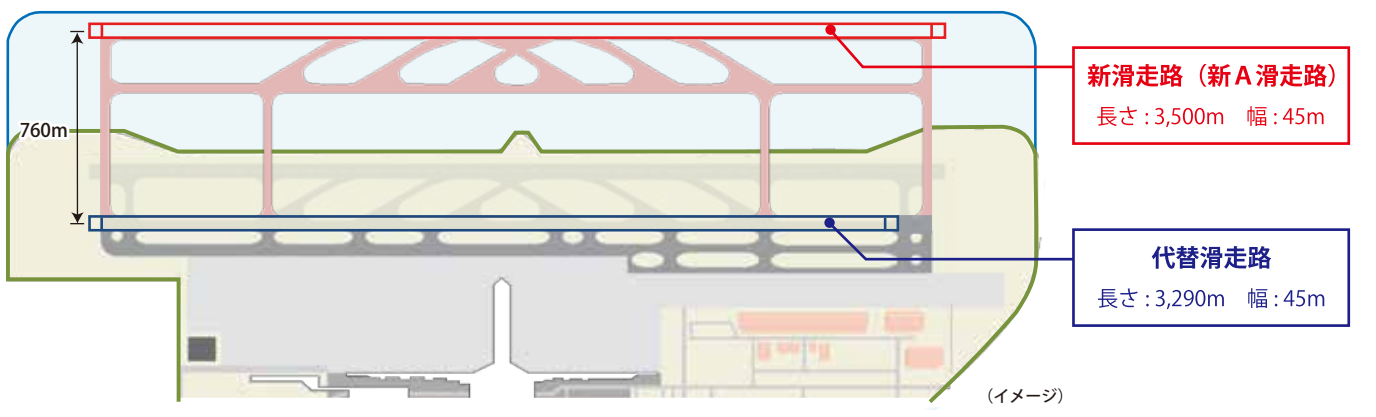
第1段階〔暫定形〕

2027年度を目途に現誘導路の位置に代替滑走路を整備し、深夜早朝時間帯における航空機の運航を継続しながら、現滑走路の大規模補修を実施します。



第2段階〔将来形〕

将来の航空需要等を踏まえ、「中部国際空港沖公有水面埋立事業」により造成される土地に新滑走路を整備し、第1段階で整備した代替滑走路の2本で運用します。



これまでの経緯

平成 5年 5月	第11 次道路整備五箇年計画において 名古屋圏自動車専用道路に位置づけ	令和 3年 2月	都市計画審議会
平成 6年12月	地域高規格道路の候補路線に指定	令和 3年 3月	都市計画変更の告示
平成10年 6月	同 計画路線に指定	令和 3年 3月	新広域道路交通計画において 高規格道路に指定
平成10年12月	同 調査区間に指定 (東海市内 L=2km)	令和 3年 4月	新規事業化(長浦IC ～日長IC)
平成16年 3月	残る区間(L=18km)を地域高規格道路の 調査区間に追加指定	令和 3年12月	有料道路事業許可
平成19年10月	「パブリック・インボルブメント(P I)」開始 (～平成21年7月完了)	令和 4年 1月	新規事業化(大田IC)
平成22年 1月	都市計画基本方針(案)の閲覧、 環境影響評価方法書の公告・縦覧	令和 4年 4月	重要物流道路に指定
平成23年 4月	都市計画基本方針の公表		
平成26年 3月	都市計画審議会		
平成26年 4月	都市計画決定の告示		
平成28年 4月	新規事業化(東海JCT部、青海IC ～常滑JCT)		
平成31年 4月	新規事業化(日長IC ～青海IC)		



R5.12.3 大田インターチェンジ 着工記念式

西知多道路の 早期整備が 必要 !!

ストック効果が最大限に発揮されるよう沿線市と連携して取り組みます。

東海市



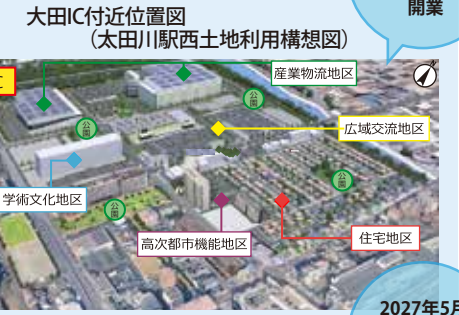
ご当地キャラクター
へいしゅうくん

西知多道路を活用した新たな産業・商業地の形成

＜担当者の声＞

- ・新設される大田IC周辺等を産業・物流拠点、広域交流拠点として位置づけ、新たな産業・商業地の形成を目指しています。
- ・市民や来訪者が余暇を楽しみ、様々な催しの中でまちの魅力向上にぎわい創出に寄与する施設を誘致しています。

出典：ヒアリング結果（愛知県実施）



2026年春
商業施設
開業

知多市



ご当地キャラクター
梅子

西知多道路を活用したにぎわいの交流拠点の整備

＜担当者の声＞

- ・朝倉IC周辺では、道路及び鉄道の広域交通を活かし、“広域圏に開かれたにぎわいの交流拠点づくり”を進めています。
- ・寺本IC周辺では、スポーツ集積拠点の形成を進め、金沢IC周辺では、広域交流拠点の形成を目指しています。

出典：ヒアリング結果（愛知県実施）



2027年5月
新庁舎供用
開始予定

常滑市



ご当地キャラクター
トコタン

西知多道路を活用した市民交流拠点・産業用地の形成

＜担当者の声＞

- ・多屋IC南の市役所・りんくう病院等の周辺を市民交流拠点に位置けるとともに、災害時における地域の防災・医療拠点としての機能強化を図ります。
- ・多屋IC周辺を産業用地検討地区として、まちの発展に寄与する新たな産業用地の形成を目指しています。

出典：ヒアリング結果（愛知県実施）



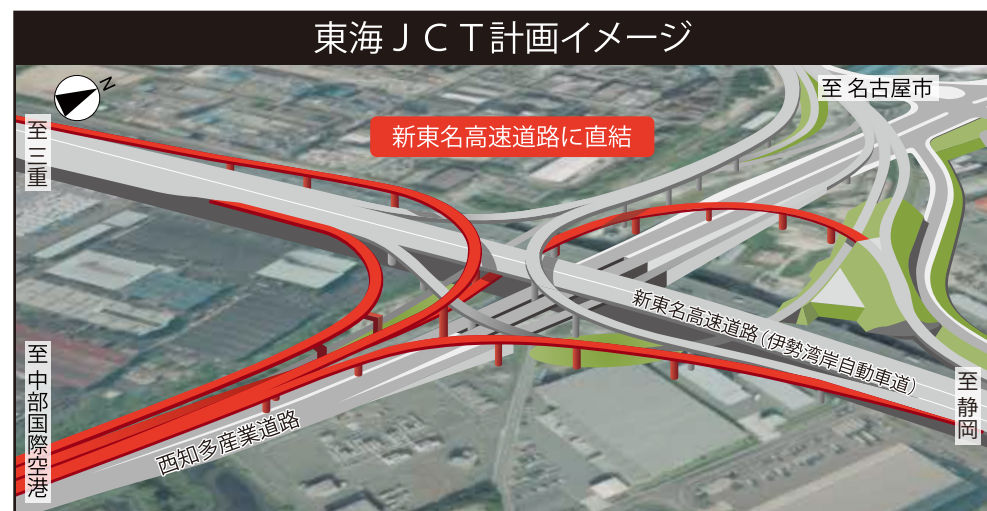
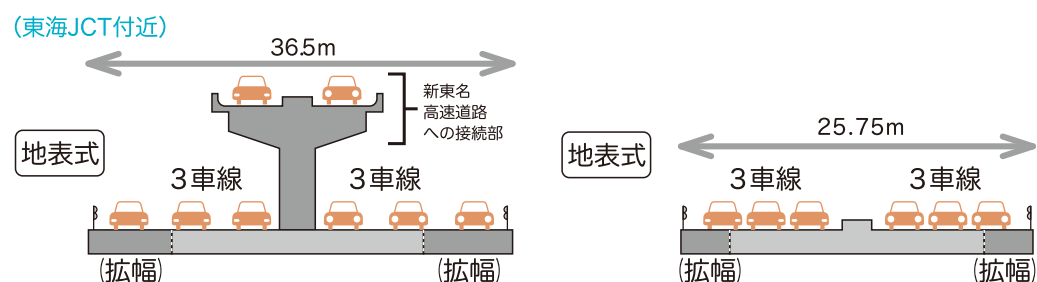
新たな産業用地
の創出を検討

【西知多道路推進協議会】

愛知県、名古屋市、東海市、知多市、常滑市
名古屋港管理組合、名古屋商工会議所
一般社団法人 中部経済連合会
中部国際空港株式会社

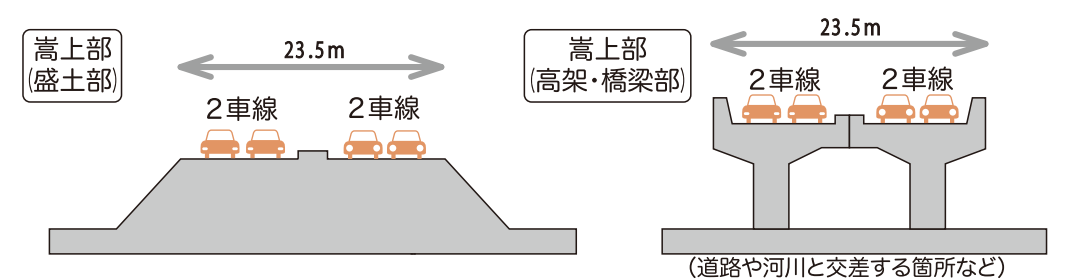
(事務局)

愛知県 建設局 道路建設課内
〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL:052-954-6545 FAX:052-972-6417
E-mail:dourokensetsu@pref.aichi.lg.jp



西知多道路の概要

都市計画道路の名称	知多都市計画道路 1・3・6号 西知多道路	
都市計画決定権者(関係市)	愛知県知事 (東海市、知多市、常滑市)	
起終点	東海市新宝町～常滑市多屋字茨廻間	
計画延長	北部区間	南部区間
	約 9.2km	約 9.3km
	総延長 約 18.5km	
道路種別	自動車専用道路	
設計速度	第2種第1級	第1種第2級
	80km/h	
車線数	6車線	4車線
標準幅員	25.75m	23.5m

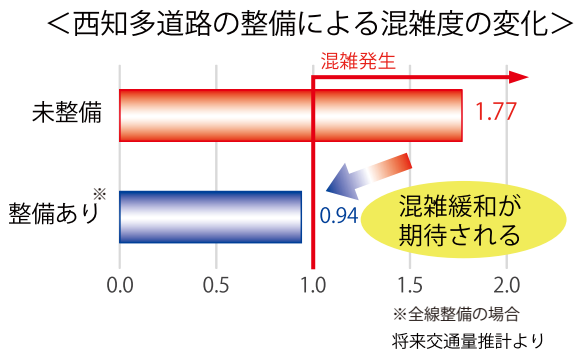


広域アクセス性の向上による 国際競争力強化

慢性的な混雑の緩和

北部区間の西知多産業道路は、沿線に鉄鋼業等の生産拠点が集積しており、特に朝夕の渋滞が激しく、各インターが主要渋滞箇所指定されています。また、南部区間の現道である国道155号では信号交差点が連担しているため、慢性的な混雑が発生しています。

西知多道路の整備を行うことにより混雑が緩和され、移動時間の短縮など物流の効率化により生産性向上が期待されます。

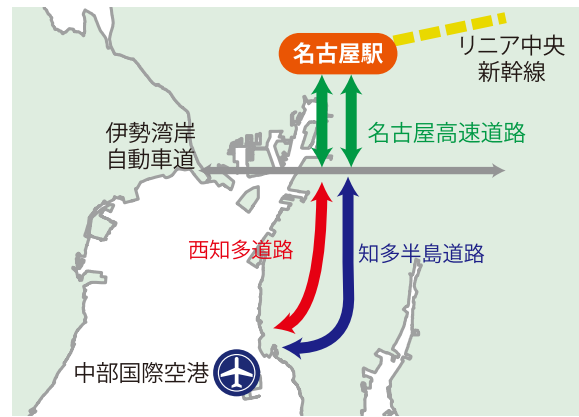


ダブルネットワーク化による空港アクセスの向上

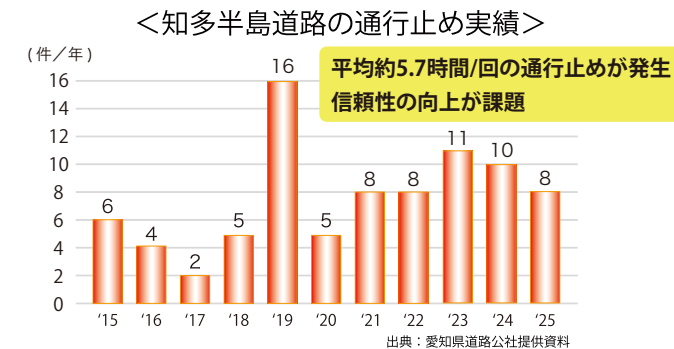
中部国際空港への主なアクセス道路である知多半島道路では事故等による通行止めが発生しています。



【空港アクセス道路のダブルネットワーク化】

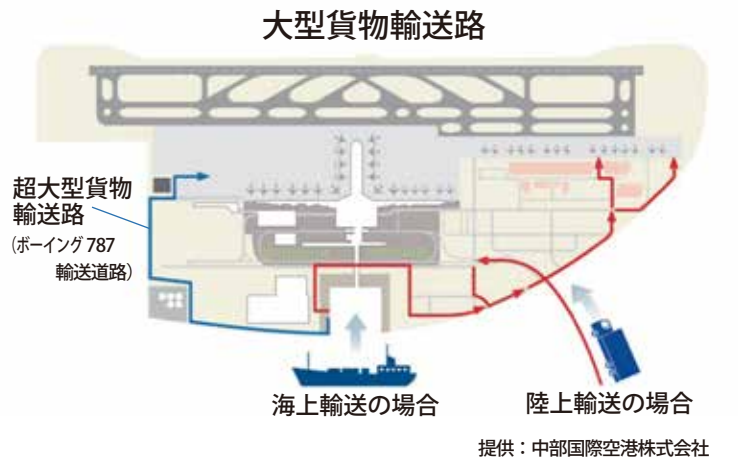


知多半島道路と西知多道路とのダブルネットワーク化により、中部国際空港へのアクセス性が向上するとともに、定時性・信頼性が向上します。



中部圏のモノづくり産業を支える

航空宇宙産業・自動車産業・素材産業の各拠点を**結ぶ**
モノづくり産業の各拠点と中部国際空港を**結ぶ**



国土強靱化に資する道路ネットワーク整備

災害に屈しない 道路ネットワークの構築

災害時においても代替性・多重性を確保した強靱な陸海空のネットワークの構築が必要になります。

西知多道路は、災害時におけるエネルギー供給地域の早期復旧に寄与し、車両用燃料等の搬出など企業BCP計画に貢献します。

